

#### 第4回 WG1（現状技術調査 WG）議事要録

日 時：平成 25 年 5 月 17 日（金）15 時～17 時

場 所：JCI 第 4 会議室

出席者：

（委 員）有川智、荒金直樹、江里口玲、杉山央、角倉英明、渡邊悟士

（事 務 局）岡田遼

資料：

WG1-4-1 第 3 回全体委員会議事要録

WG1-4-2 トレーサビリティ関連リスト

WG1-4-3 トレーサビリティ関連技術系統（研究開発グループ）リスト

WG1-4-4 WG1 作業方針と今後の計画

WG1-4-5 トレーサビリティ特許情報リスト

#### 1. 全体委員会及び WG の議事内容の確認

○資料 WG1-4-1 を用いて WG1 の議事について、確認された。

- ・技術系統の整理を進めるということを中心に議論した。
- ・日本建築学会のケースであるが、図表の転載許可は、図版等を転載した予定原稿等を示した上で許可を得るというプロセスが必要なケースもある。転載許可等の手間がなるべく掛からないように進める。

#### 2. 技術系統（研究開発グループ）の整理について

○資料 WG1-4-2 を用いて文献リストについて議論した。

- ・文献調査で得られるトレーサビリティ技術が当てはまる分野を「コンクリート」、「土木」、「建築」、「横断的」、「建設以外」という 5 分類に再整理した。
- ・コンクリート分野では品質管理的な視点、土木・建築分野では業務の合理化といった視点、横断的分野については重機等の建設的な視点から、研究論文・報告を整理した。建設以外は異分野での研究論文・報告である。
- ・No.63 については、現在建築分野に位置づけてあるが、コンクリート分野に移動する。
- ・リスト番号はとりあえずこのままを維持し、報告書作成の段階で再度整理を検討する。
- ・収集が難しい文献は、関係の強い委員に直接文献収集を依頼する。

○資料 WG1-4-3 を用いて技術系統リストについて議論した。

- ・研究開発のシステム概要（目的）と装置（技術）が明確になるように整理した。
- ・分野名を少し変更しても良いかもしれない。「コンクリート→コンクリート材料」、「土木→土木構造物」、「建築→建築構造物」というような感じでもよいのではないか。とりあえず、調査対象をピックアップできれば良い。その上で、委員会内メンバーにプレ調査を行い、調査方針を決定する。

○資料 WG1-4-5 を用いてトレーサビリティ関係の特許について議論した。

- ・40 件程度の登録特許取得の事例がある。
- ・登録特許情報については、詳細な情報を盛り込むのではなく、宣伝にならないように。研究グループにひも付けるという形式でも良い。

### 3. 今後の作業計画と分担について

○資料 WG1-4-4 を用いて作業方針と今後の計画について議論した。

- ・技術系統を再整理する。
- ・研究グループ毎に進め、ヒアリング調査については関係委員を通じて行う。
- ・建設以外の分野の技術系統の整理については、背景で取り上げ、建設分野全般での取り組みが遅れているということに触れたい。
- ・次回の WG1 は、全体委員会と合同で行う。日程調整は 5 月 22 日の WG2・3 で行う。

### 4. その他

- ・第 5 回 WG1 は、別途日程調整。
- ・WG4（実証実験）を設置。東京近郊の建設工事を対象とした実証実験を進める。

以上